

夕暮れのひとときを愉しむ、博物館展示室でのミニコンサート。素敵な楽器と音楽につつまれてみませんか。

5/8 土  
18:30

ヴァイオリンデュオによるフランス作品の宵

## 二人八弦十色 ~ライヴアル二人の競演~

【チケット発売 3/8】

ルイ15世の時代に生きた、作曲とヴァイオリン演奏におけるフランス・バロック音楽界の巨匠ルクレール。同じ時代にルクレールをしのご演奏技巧を持つといわれ、宮廷楽団の地位をめぐってルクレールと対立した、イタリア生まれのヴァイオリン奏者ギニョン。二人の作品をヴァイオリンデュオで楽しんでいただく。

**演奏** アニマ・コンコルディア パウル・エレツラ 戸田薫

**プログラム** ●ヴァイオリン・ソナタ/J-M.ルクレール  
●ヴァイオリン・ソナタ/J-P.ギニョン

**パウル・エレツラ**

ヴェネズエラ、カラカス市出身。ジュリアード音楽院マスターコースに学ぶ。ヴェネズエラではシモンボリバルシンフォニーオーケストラで10年間メンバー。1988年以來ピリオド楽器の演奏に焦点を当てロンドンのロイヤルアカデミー、オランダのデン・ハーグ王立音楽院で研鑽。ラ・プティット・バンドをはじめヨーロッパの主要なミュージシャンとともに活躍。現在は日本を本拠にパッサ・コレギウム・ジャパンや室内楽で活動を展開している。2001年室内楽グループ「アニマ・コンコルディア」結成。

**戸田薫**

愛知県出身。東京芸術大学卒業。ピリオド楽器を若松夏氏に師事。1992年山梨古楽コンクールにて最高位受賞。同年オランダのデン・ハーグ王立音楽院に留学。パッサ・コレギウム・ジャパンやラ・プティット・バンドをはじめとしたオーケストラに参加。2001年パウル・エレツラとともにアニマ・コンコルディアを結成し、17~18世紀のトリオ・ソナタを中心とした室内楽演奏にも力を注いでいる。桐朋学園大学古楽器科講師等を務めている。クラシカルプレイヤーズ東京コンサートミストレス。



6/2 水  
19:00

ショパン生誕200年記念

## ワルツに恋して...

【チケット発売 4/2】

今年はショパン(1810~49)が生まれて200年の記念の年。ノクターン、バラード、マズルカなどその作品は豊かな詩情にあふれているが、中でもワルツは洗練されたロマンティズムと優美な雰囲気さに満ち溢れている。全14曲中から代表作を、ワルツを在任でショパン演奏のスペシャリスト河合優子の演奏で贈る。至福のひとつ。



**河合優子**

日本を代表するショパンのスペシャリスト。愛知県岡崎市出身。愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。在学中、来日した20世紀最大のショパンの権威ヤン・エキエル教授(1913~)に演奏を認められ、大学院修了と同時に渡欧。ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院(現ショパン音大)研究科修了。1995年第13回ショパン国際ピアノ・コンクール特別ホルタージュ番組が大きな反響を呼び、翌年のポーランド全国リサイタルツアーをきっかけに演奏活動に入る。「スラヴの魂を持つ日本人」「ユウコ・カワの演奏会は真の芸術的イベントであった」「彼女はショパンの思っていたように弾くことができる」などと評される。CDも多数。「レコード芸術」誌では「能に達する品格のある静けさや簡素な美しさと、スラヴ的なダイナミズムとリズミズムの融合」「透徹したリズミズムはリパティに匹敵」などの評を得ている。



使用ピアノ / 1869年 プレイエル社 バリ

**演奏** 河合優子

**プログラム**

- ワルツ 第1番 変ホ長調 作品18 「華麗なる大円舞曲」
- ワルツ 第7番 嬰ハ単調 作品64の2
- ワルツ 短調 WN29 他

8/7 土  
18:30

やさしい自然のささやき

## チターに魅せられて...

【チケット発売 6/7】

ドイツ南部やオーストリア、スイスに伝わる民俗楽器チター。家庭や酒場で愉しまれていたが、映画「第三の男」で、アントン・カラスの演奏により全編にわたってバックに流れていた音楽で、一躍世界中に知れ渡り有名になった楽器である。ワルツ「ウィーンの森の物語」の序奏にも使われている。えもいわれぬ甘く透明な音色は、やさしく美しい自然のささやきそのもの。

**演奏** 内藤敏子

**プログラム**

- トラウン湖の夕暮れ / H.フランク
- 幻想曲 / A.スメターク
- ハリー・ライムのテーマ / A.カラス (映画「第三の男」より)
- カフェ・モーツァルト・ワルツ / A.カラス (映画「第三の男」より) 他

**内藤敏子**

17才の時に来日中のソ連のヴァイオリニストE.ベスロードーニー氏に認められモスクワへの留学を勧められる。その後スイスにてチターとヴァイオリンの協演がきっかけとなりチターの魅力にひきこまれる。スイス・チューリッヒ市在住十数年間にヴァイオリンの演奏活動とともに世界的なチター界の実力者J.コーザ女史のもとでチターを習得。映画「第三の男」で有名なチター奏者アントン・カラス、さらに20世紀を代表するチター界の巨匠ルーディ・クナー氏からもレッスンを受ける。スイスにてチター演奏家ディプロム及びチター教育者ディプロムを取得して帰国。国際チターセミナーや学会等での演奏と講演、オーケストラとの協演、チター演奏家の育成など国内外で幅広い活動を行っている。現在日本チター協会会長。秋篠宮妃紀子殿下のチターの先生としても知られている。



10/3 日  
18:30

ローランド・ファミリー・コンサート

## 電子チェンバロ・トリオ

【チケット発売 8/3】

バロック時代の花形鍵盤楽器であったチェンバロは、19世紀の休眠期を経て20世紀に復興しバロック音楽のブームを作った。繊細なチェンバロは調律や調整に大変手間のかかる楽器。21世紀の最新技術で生まれた電子チェンバロはその手間を解消し、音楽演奏の新たな愉しみを生み出した。電子チェンバロと弦楽によるトリオの夕べ。

**演奏** アクア・トリニティ

共催：(財)ローランド芸術文化振興財団

**プログラム**

- オリエンタル / キュイ
- リベルタンゴ / ピアソラ 他

**アクア・トリニティ**

Aqua=水、Trinity=三位一体。若手実力派奏者として活躍中の磯絵里子(ヴァイオリン)、水谷川優子(チェロ)、水永牧子(チェンバロ)によって07年に結成され、各地で公演活動を重ねている。メンバー全員が「水」に関する名前であることから、このグループ名が命名された。美しく華麗なバロックの名曲から、映画音楽やピアノ作品まで演奏。このトリオならではの味わい深くセンス溢れるプログラミンと、ありそでないチェンバロ三重奏の繊細で美しいアンサンブルが大好評を得ている。

**水永牧子**

桐朋学園大学古楽器科を卒業。フライブルク音楽大学大学院を修了し、同大学で初めてドイツ国家チェンバロ・ソリストディプロムを取得。99年モントリオール国際チェンバロコンクール第2位、及び最優秀賞受賞。01年東京にて「ノリサイタル」デビュー。最新CDは06年発売の「イングリッシュ・ガーデン」(ピクチャー)。ソロ以外でも古楽アンサンブル「ラ・フォンテーヌ」のメンバーとしても活動中。チェンバロを故郷島元子、R.ヒル、M.ペーリッガーに師事。

**水谷川優子**

祖父・近衛秀麿の遺志によりチェロを始める。桐朋学園大学ディプロマコース、モーツァルト音楽、サン・チェリア国立アカデミー等で研鑽を積み、ヨーロッパと日本で活動を展開。東京国際室内楽コンクール優勝、カラブリア芸術祭コンクール1位、ピネロ・ロ国際室内楽コンクール2位等の受賞歴を持つ。また少年院や福祉施設等におけるボランティア公演も積極的にを行っている。最新CDは「ソルヴェイグの祈り」(ピクチャー)【レコード芸術】準特選盤。

**磯絵里子**

桐朋学園大学卒業後、I.オストラフ氏に招かれブリュッセル王立音楽院に留学。修士課程大賞を受賞して首席修了。マリア・カナルス国際コンクール第3位他、国内外の数々のコンクールで入賞多数。ソロや室内、室内楽、オーケストラとの共演、音楽祭への参加など、幅広い活動を展開。TV・ラジオ出演も多い。小中学校を中心としたアウトリーチ活動、マンロー・グループ植林活動等も展開。最新CDは「フランク&ルーク・ヴァイオリン・ソナタ集」(オクタヴィア・レコード)。洗足学園大学講師。

会場 / 楽器博物館地下展示室ホール 定員 / 100名

主催 / 浜松市楽器博物館 (財)浜松市文化振興財団

チケット 1000円 楽器博物館、アクトシティチケットセンター、ヤマハミュージック東海浜松店にて公演2か月前より発売。電話予約は楽器博物館のみ。

問合せ / 浜松市楽器博物館 浜松市中区中央3-9-1 TEL:053-451-1128  
メール:wakuwaku@gakkihakaku.jp ホームページ:http://www.gakkihakaku.jp

**イヴニングサロン**

リコーダーとリュートによる「イングリッシュ・エア」(2009年6月20日[土])。夜の展示室で、楽器に囲まれて、大理石のステージで、なかなか素敵です。

